

小杉大人の交流会

第2回大人の交流会が7月9日(土)に開催されました。予想を大幅に上回る数のお申し込みをいただきました。案内や受付などのスタッフも入れると130人を越す参加者が集まりマンション巡りや懇親会で交流の輪を広げました。

参加は16:00に集合した後、6班のグループに分かれザ・コスギタワーとステーションフォレストタワーのマンション巡りをし、ほぼすべての共用施設の説明を聞いて回りました。その後レジデンス・ザ・武蔵小杉にて懇親会が催されました。そこでは、映画界やミュージカルで活躍されておられる人の紹介もされました。



大人の交流会・マンション巡り



第2回大人の交流会・懇親会

ちょっと小さな交流会

7月は「リズム・ストレッチ体操イチ、ニ、サン」でした。パンジー元気会の講師をお迎えし、皆で体を動かしました。



7月のちょっと小さな交流会

8月のちょっと小さな交流会は「あなたの骨に効く話」

今から始めよう骨粗鬆症の予防と治療についてです。

骨の形成は30代をピークに減少していきます。このため、若いうちから予防を心がけ、生活を工夫していくことが大切といわれています。そこで、今回、身近な健康に役立つお話を中原保健福祉センターの眞川先生をお迎えしてお聞きします。その後、いつものおしゃべりを楽しみましょう。

日時：8月12日(金) 13:30～(受付 13:15～)
場所：エリマネ事務所横フリースペース(リエトプラザII)

こども探検隊

7月17日(日)

こども探検隊は、なかはらっぱ祭りに参加して暑中見舞い作りの作品展示とその体験学習を行いました。



こども探検隊・なかはらっぱ祭り

8月の子ども探検隊

「夏休みの自由学習」お友達や学校の先生といっしょに夏休みの宿題をしよう!

日時：8月20日(土) 9:30～12:00
場所：エリマネ事務所横のフリースペース(リエトプラザII)
*自由学習の内容は理科の実験、工作、作文、植物スケッチ、クレヨンひっかき絵、などです。きっと夏休みに最適な自由学習になるでしょう。申込は8月12日までに事務局へ。当日は、持ち物(500mlの炭酸飲料のペットボトル、ハサミ、クレヨン、名前ペン油性)を持ってお友達と一緒に自由学習に参加しましょう。

藤子・F・不二雄ミュージアムが9月3日にオープン

漫画「ドラえもん」の作者を記念した「藤子・F・不二雄ミュージアム」が多摩区の生田緑地内に、9月3日オープンします。
場所：川崎市多摩区長尾2-8-1 南武線宿河原駅より徒歩15分
入館時間：午前10時、正午、午後2時、午後4時の4回(各回500人)
休館日：火曜、年末年始(7月20日～8月31日は火曜も閉館)
入館料：大人・大学生1000円、高・中学生700円、小学生500円
一般チケットはローソン各店の端末で。(7月30日から販売)

インターナショナルフェスティバル

インターナショナルフェスティバル

インターナショナルフェスティバルが7月3日(日)に国際交流センターで開催されました。世界各国のお友達が集まり民間団体の活動展示、中国瀋陽市友好記念展示、日独交流記念展示やたくさんの交流体験企画や物産企画や催しものが行われました。交流体験では、各国の踊りや文化体験、世界の料理や音楽やゲームなどが行われました。



インターナショナルフェスティバル

なかはらっぱ祭り

7月17日に中原区民館で第7回なかはらっぱ祭りが開催されました。

このなかはらっぱ祭りには様々な団体が参加して、催し物も様々でした。防災を学んだり、料理を親子で作ったり、写真を展示したり、日本舞踊、詩吟、書などの日本の伝統文化を体験をしました。音楽のイベントもカリブの楽器を使ったもの、ミニライブなどがあり盛りたくさんでした。

私達のエリマネのコーナーにもたくさんのお友達が参加して、暑中見舞いはがきの作り方を体験しました。



なかはらっぱ祭りで昔あそび

モーツァルト・レクイエムへのご招待

#b

武蔵小杉を主な拠点に活動する本格的アマチュア混声合唱団⇒翠声会が来る9月11日(日)に第34回定期演奏会を開催します。

当新聞をお読みの方先着10名様をこの定期演奏会に無料でご招待させていただきます(申込は電話かメールで当NPO事務所に)

演目 モーツァルトのレクイエム 邦人合唱曲「かなしみはあたらしい」
会場 大田区民ホール・アブリコ

16時30分開場 17時開演
入場料1,500円

お問合せはichim21@gmail.com宛
又、ホームページ「混声合唱団翠声会」をどうぞご検索下さい。

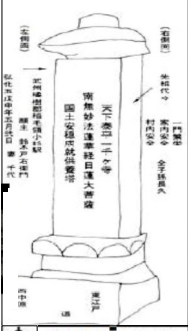
2010年6月第33回定期演奏会於県立音楽堂



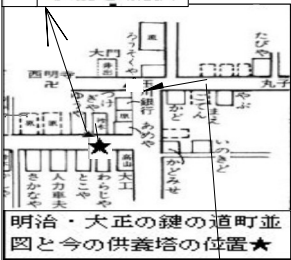
中原街道34

(宿駅)小杉駅と供養塔Ⅲ
寛文十三年に

「宿」のことは表して「駅」というのは、小杉が宿であることを示し、道するべにも中原街道の両端の地名をきざんだ戸右衛門さんは、街道に関心をもち、小杉駅が栄えることを願っていたものと思われま



供養塔 解説図



明治・大正の鍵の道町並図と今の供養塔の位置★

昭和四十六年に発行された「中原街道小杉から久末までをたずねて」を参考とした歴史研究を基礎に掲載しています

小杉が「宿場」と決められたのは、小杉御殿が無くなつて(一六七一年)まもなくで、初めは、大名行列のため馬七十、人足二百五十も用意したようですが、江戸時代の中頃から後は、毎日馬一、人足二というように、さびれていきました。また、戸右衛門さんが供養塔(左上)に供養塔の解説図を掲載

カギの道・改修工事

カギの道の西明寺入口角から小杉十字路への直線化改修工事が進んでいます。左写真では建物が消え、直線になる先の方が見えます。



右の写真は今年4月、左は建物取り壊し後の6月撮影

